

ESG	7つの中核主題	ESG重要課題 (マテリアリティ)	伊藤園の主な目標 (KPI項目)	2017年度活動目標	2017年度活動実績	2018年度活動目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
ESG	7つの中核主題	人材育成	人材の獲得と退職防止、人材育成	・伊藤園大学・大学院などを通じた人材育成の強化	・伊藤園大学・大学院を通じた人材育成 (卒業生718名)	・伊藤園大学におけるSDGs、ESG理解促進カリキュラム導入																					
			伊藤園ティーテイスター社内検定の有資格者の育成	・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者の増加 ・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者に対する教育の強化 (等級別12回)	・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者の増加 (2,160名 ※2017年度2,102名) ・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者に対する教育の強化 (等級別12回)	・TT2級教育の強化 ・茶道入門への自己啓発支援																					
		ダイバーシティ	多様性と労働環境の平等性、女性の活躍推進	・多様な人材が柔軟な働き方を選択できる仕組みについて、更なる拡充を進める ・早期段階でのキャリアモデルを描く為、女性社員への教育実施 ・外国人技能実習生の更なる受け入れ及び技術・日本語能力の向上	・女性社員に対する教育を継続実施 ・女性の職域拡大に向けての意識的配置の実施 ・外国人技能実習生の受け入れ実施 (5名) ・組織横断的な女性企画プロジェクト「チーム88」を継続実施。女性目線の自由な発想で様々な機会を活用しながら企画実施を積み重ね、女性社員の能力を十分に発揮し活躍できるよう推進。	・女性社員に対する教育を継続実施 ・女性の職域拡大に向けての意識的配置の実施 ・外国人技能実習生の受け入れ実施 (5名) ・組織横断的な女性企画プロジェクト「チーム88」を継続実施。女性目線の自由な発想で様々な機会を活用しながら企画実施を積み重ね、女性社員の能力を十分に発揮し活躍できるよう推進。	■女性活躍推進法への対応 ・女性を対象とした教育の実施 ・管理職を対象とした教育の実施 ・女性の管理職への意識的登用の推進 ・企画内容をプログラム化し、新しく全社共有のコンテンツとなるよう拡充を図る。																				
			障がい者雇用と支援体制の強化	・2018年の法定雇用率改正に向けた体制の整備及び定着支援	■障害者雇用の推進 ・障害者法定雇用率の遵守 (2.07%)	■障害者雇用の推進 ・採用後の定着を推進するための支援体制の強化 (地域社会、会社、家族との連携体制の維持強化)																					
		消費者課題	製品の品質と安全性	品質管理の強化	■伊藤園グループ品質方針に基づくサプライチェーン管理の徹底 ・品質会議の開催 (製造委託先、原料/包装、伊藤園グループ企業)	品質会議 12回開催 伊藤園グループ品質会議 1回開催	■伊藤園グループ品質方針に基づくサプライチェーン管理の徹底 品質会議 11回開催 伊藤園グループ品質会議 1回開催																				
				製品の安全性確保	・原料サプライヤーに対する監査 (品質監査、トレース監査) の徹底 ・製造委託先に対する品質監査の徹底 ・ISO9001、FSSC22000の適正運用 ・食品工場のHACCP導入義務化に向けた対応 ・残留農薬検査体制の強化	・原料サプライヤー、製造委託先に対する監査件数479件 (計画 406件) ・ISO9001、FSSC22000 定期サーベイランス審査適合 ・HACCPを導入していない事業者に対するサポート ・残留農薬分析 1559件 分析可能農薬数384種類 昨年対比4種増加	・原料サプライヤー、製造委託先に対する監査件数479件 (計画 499件) ・ISO9001、FSSC22000 定期サーベイランス審査 ・HACCPを導入していない事業者に対するサポート ・分析可能農薬数 4種類増加 388種類 輸出先の残留農薬基準に確実に適合する製品の供給体制確立																				
	JGAP導入の取り組み推進			・JGAP導入の取り組み推進 (60%)	・JGAP 取得率64%(数量ベース)	・JGAP 取得率目標90%(数量ベース)																					
	健康価値の訴求 (健康と栄養性)		健康関連の研究	・食品の健康価値に関する研究と発表の実施 (8回)	・食品の健康価値に関する研究と発表の実施 (10件)	・食品の健康価値に関する研究と発表 (9件)																					
			健康に貢献する食品・飲料の開発・充実化	・健康に貢献する食品・飲料の増加、健康的な食生活の提案	・機能性表示食品の改良・発売 (5件)	・健康に貢献する食品・飲料の強化と健康的な食生活の提案																					
			特許・商標戦略	・知的財産権の尊重と保護、活用、侵害防止の推進強化	・知的財産権の尊重と保護・活用	・知的財産権の尊重と保護、活用、侵害防止の推進強化																					
	製品のパッケージングおよび適切な情報公開		環境配慮型容器などの開発	・お客様情報をもとにしたユニバーサルデザイン製品の開発 ・お客様アンケート調査の実施 (200名)	・お客様アンケート調査を実施 (200名)	・お客様アンケート調査の実施 (200名) ・アンケート結果を活かした製品の開発																					
			商品の適切な情報開示	・食品表示基準改正等への対応 (原料原産地表示等への対応)	・ごく一部の商品を除き、一括表示の食品表示基準への対応完了 ・原料原産地表示義務化に向けた情報整理	・食品表示基準に基づく新工場固有記号の登録 ・原料原産地表示方法およびスケジュール作成																					
	製品の求めやすさ		販路別営業網の活用および小売店の強化 (お茶を活用したお客様との接点強化)	・インバウンドに対応した商品及び店舗の展開	・空港内34店舗 直営 (物販4飲食2)・納品 [28] ・緑茶および抹茶を中心にお茶に関わる商品を販売	・空港・港・鉄道ターミナル駅等への新規出店 ・緑茶および抹茶を中心としたお茶に関わる商品を販売																					
	公正なマーケティングと広告		公正なマーケティングと広告	・公正な広告方針の策定検討	・公正な広告方針の策定に向けて継続的な情報収集	・公正な広告方針の策定に向けて継続的な検討																					
	個人情報の保護	データセキュリティとプライバシーの保護 (再掲)	・個人情報の厳正な管理の継続	・改正個人情報保護法を踏まえた体制整備 ・法務部コンプライアンス室と連携し、全社に教育を実施	・個人情報の厳正な管理の継続																						
	コミュニティへの参画	コミュニティと人権課題	人権関連貢献型自動販売機の推進 (おぎゃー自動販売機、犯罪被害者支援自動販売機など)	・コミュニティ課題に対応した自動販売機の継続設置及び推進	・コミュニティ課題に対応した自動販売機の継続設置及び推進																						
	及びコミュニティの発展	コミュニティと地域活動	伊藤園まち・ひと・しごと創生推進基本方針に則した地方創生活動の実施	・関連部門との地方創生活動の実施 (高知県との包括協定の締結)	・高知県との包括協定締結	・関連部門との地方創生活動の実施																					
			文化プログラムへの参画・活動の展開	・「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」の適切な実施及びプログラムへの認証・活用 ・伊藤園ティーテイスター社内検定資格保有者によるお茶セミナーのプログラム認証申請	・「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」: 応募総数: 195万4223句 (前年対比+4.3%)、応募人数: 50万6590人 (前年対比+3.1%)、 応募学校数: 2799校 (前年対比+7.7%) ・伊藤園ティーテイスター制度が2017年3月厚生労働省「社内検定認定制度」に認定	・「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」の適切な実施及びプログラムへの認証・活用 ・文化庁推進の「文化プログラム」に参加、小中学校へのお茶セミナー開催拡大																					
		伊藤園ティーテイスター社内検定の活用 (茶文化プログラムの推進)	・文化遺産での大茶会、日本茶文化セミナー等による茶文化の啓発活動の強化 ・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者の積極的な社外への派遣	・文化遺産、神社仏閣、学校と連携したイベント活動やティーテイスター制度を活用したお茶セミナーを年間通じ継続実施。 ・全国量販店店舗での大茶会を含めお茶の普及活動を実施。(セミナー、大茶会等1,872回開催)	・文化遺産での大茶会、日本茶セミナー、抹茶のふるまひ等による茶文化および日本文化の啓発活動強化 ・伊藤園ティーテイスター社内検定有資格者の積極的な社外への派遣																						
		地域社会に対する関係強化	・消費者団体等との意見交換会の継続実施 ・工場見学の継続実施 ・外部団体との関係強化、およびイベントへの積極参加。和食文化国民会議への参画 ・伊藤園レディスゴルフトーナメントの継続開催	・消費者団体等との意見交換会を実施 (1回) ・工場見学の継続実施 (282件) ・外部団体との関係強化、およびイベントへの参加。和食文化国民会議への参画。 ・伊藤園レディスゴルフトーナメント開催 (ポランティア1,242名、チャリティ7,788,072円)	・消費者団体等との意見交換会の継続実施 ・工場見学の継続実施 ・外部団体との関係強化、およびイベントへの継続参加。和食文化国民会議への継続的な参画。 ・伊藤園レディスゴルフトーナメントの継続開催																						
	コミュニティと産業育成	茶産地育成事業 (新産地事業) の年間生産量 (参考: 茶園面積)	・茶産地育成事業 (新産地事業) における荒茶生産の更なる拡大 (佐賀県) ・年間生産量: 約1,270トン (参考: 茶園面積約410ha) ・雇用面で地域への貢献	・新産地事業における荒茶生産量 実績 1,192トン 面積 実績 406ha	・新産地事業における荒茶生産量 実績 1,187トン 面積 実績 421ha																						
		農業生産法人との連携強化	・農業生産法人との連携強化	・農業生産法人との連携強化	・農業生産法人との連携強化																						
	コミュニティと環境・文化	「お茶で日本を美しく。」プロジェクトの活動	・「お茶で日本を美しく。」プロジェクトの継続展開、地元支援自治体等との連携した地方創生活動の推進	・「お茶で日本を美しく。」プロジェクトを46都道府県で展開	・「お茶で日本を美しく。」プロジェクトの継続展開、地元支援自治体等との連携した地方創生活動の継続および推進																						

ESG	7つの中核主題	ESG重要課題 (マテリアリティ)	伊藤園の主な目標 (KPI項目)	2017年度活動目標	2017年度活動実績	2018年度活動目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
		コミュニティの震災復興支援	震災被災地の支援継続、被災地自治体との関係強化	・震災被災地の支援を継続し、被災地自治体との関係を強化 ・「お茶っこ会」の展開を継続	・お茶っこ会継続実施 21回(東北17回、熊本4回)	・震災被災地の支援を継続し、被災地自治体との関係を強化 ・「お茶っこ会」の展開を継続																			
	環境 (E)	気候変動・大気汚染の防止	温室効果ガスの排出、全社CO2排出削減	・全社CO2排出量削減 2009年度比 -8%	・全社CO2排出量2009年度比-25.9%	・全社CO2排出量削減への取り組みの継続																			
ヒートポンプ自動販売機比率向上			・ヒートポンプ式自動販売機稼働比率:90.0%	・ヒートポンプ式自動販売機稼働比率:89.3%	・ヒートポンプ式自動販売機稼働比率:90.0%超																				
車両燃費向上			・車両燃費向上2016年度比 +1%	・2016年度比▲1.69%	・車両燃費向上2013年度比 1%																				
サプライチェーンでの温室効果ガス排出削減			・飲料製造委託先CO2排出量の精度向上 ・国内原料調達先CO2排出量の調査実施	・データ回収率及び推計方法の精度向上 ・国内主要取引先10社の調査を実施、確認済み	・排出量の実数把握 ・国内主要取引先10社の調査を行う。(実施継続)																				
フロン排出抑制法改正への対応			・空調機点検100%継続実施(全拠点+センター5棟+自社ビル6棟)	・空調機点検100%継続実施(全拠点+センター5棟+自社ビル6棟)	・空調機点検100%継続実施(全拠点+センター5棟+自社ビル6棟)																				
製造部門のCO2排出量削減[原単位]			・製造部門のCO2排出量削減 前年度比 -0.5%	・2016年度比-10.2%	・2016年度比-11.2%(原単位)																				
省エネルギー推進		全社の電力使用量削減	・全社の電力使用量削減2016年度比 -2%	・2016年度比0.75%の削減	・全社の電力使用量削減2016年度比-2%																				
		生産時のエネルギー管理、飲料製造工場のエネルギー削減	・沖縄名護工場の電気使用量 前年度比 -1%	・2016年度比-27.5%	・2016年度比-29.5%																				
		輸送時のエネルギー管理、ブロック生産比率向上、モーダルシフト	・飲料製品の物流効率向上(ブロック生産比率70%以上)	・ブロック生産比率68.5%	・飲料製品の物流効率向上(ブロック生産比率70%以上)																				
生物多様性の保全		茶産地育成事業でのモニタリング	・茶産地育成事業の新産地における益虫モニタリング	・調査実施	・継続実施																				
水の管理		生産時の水の消費と排水の管理(自社工場および委託先工場の水使用量に関する情報収集の強化)	・飲料製造委託先の水資源に関する実態調査実施 ・水使用量・排水量管理/排水の浄化処理の管理/取水地の水源涵養	・調査実施	・実施継続																				
廃棄物とリサイクル		廃棄物の管理、食品リサイクル率向上	・緑茶包装工場の再資源化率100% ・食品リサイクル率90%以上	・緑茶包装工場の再資源化率100% ・食品リサイクル率96.0%	・緑茶包装工場の再資源化率100%維持 ・食品リサイクル率90%以上																				
		茶殻リサイクル	・茶殻再利用量:1,200トン以上	・茶殻再利用量:1,192トン	・茶殻再利用量:1,300トン以上																				
		容器の使用原料の削減	・500mlペットボトルの軽量化:2016年度の軽量化率(-16.5%)の維持 ・2Lペットボトルの軽量化:2016年度の軽量化率(-31.8%)の維持	・500mlペットボトル軽量化率:-17.56% ・2リットルペットボトル軽量化率:-32.23%	・軽量化率の維持																				
		環境に配慮した製品開発の推進	・環境に配慮した製品開発の推進	・賞味期限年月日表示一年月表示(食品ロス削減)	・環境に配慮した製品開発の推進(原料使いきり設計、ライント不要設計、賞味期限延長)																				
		茶殻関連製品の開発	・茶殻関連製品の開発	・自動販売機用茶殻配合シート、茶殻入りノートの製品化	・茶殻入り樹脂製品・紙製品などの開発																				
		茶殻入り段ボールの使用量拡大	・茶殻入りダンボール5,500万ケース	・使用数量:5,600万ケース	・使用数量:5,500万ケース																				
		広告・PR・販促物のグリーン素材使用	・広告・PR・販促物のグリーン素材使用率 100%	・グリーン素材100%使用目標達成	・グリーン素材100%使用の継続																				
		廃棄物の適正処理	・廃棄物処理委託会社現地視察 50社以上	・96社の現地視察を実施	・廃棄物処理委託会社現地視察 50社以上																				
		生産由来の動植物性残渣有価売却の推進	・生産由来の動植物性残渣有価売却の推進 有価率28%	・有価売却率:有価率56%	・有価売却率:62%																				
	生産由来の雑紙等有価売却の推進	・生産由来の雑紙等有価売却の推進 有価率96.5%	・有価売却率:96.2%	・有価売却率:95%																					
	棚卸資産廃却損額	・棚卸資産廃却損額(売却損を除く) 売上比0.1%未満の維持	・棚卸資産廃却損額(売却損を除く) 売上比0.1%未満の維持	・棚卸資産廃却損額(売却損を除く) 売上比0.1%未満の維持																					
	環境法規制及び拠点対象の廃棄物管理教育の拡大と充実	・20拠点の拠点監査を実施。計画(18拠点)を達成。	・20拠点の拠点監査を実施。計画(18拠点)を達成。	・環境法規制等登録簿の確実な更新と情報収集の実施																					
その他環境関連重要課題	茶産地育成事業の拡大	・新産地事業における荒茶生産量:1,065トン	・荒茶生産量:1,192トン	・荒茶生産量:1,187トン																					
	新産地の農業の使用・管理に関する定期監査	・定期監査実施	・定期監査実施	・定期監査の継続実施																					
	改正ISO14001への対応	・改正ISO14001による運用開始	・改正ISO14001(2015年度版)による認証取得	・改正ISO14001(2015年度版)による取組の継続																					
	環境関連法令等の遵守状況把握	・社会・環境に関連する法令(条例)改正の確認及び拠点への情報提供	・法令(条例)改正の確認と拠点への情報提供を本社・拠点間で2月に実施	・社会・環境に関連する法令(条例)改正の確認及び拠点への情報提供と継続確認																					
	全社へのBCPの浸透強化	・BCPの適正な更新と安否確認訓練の返信の徹底	・BCPの内容精査。安否未返信者への再訓練実施による返信の徹底	・BCPの内容更新、安否確認の返信徹底及び災害訓練実施による防災意識の向上																					
	車両事故の削減	・事故件数2016年度以下(被害除く)	・719件(2016年度比±0)	・事故件数2017年度以下(被害除く)																					
	生産関連企業への環境に関する供給者評価の実施	・生産関連企業への環境に関する供給者評価の100%実施	・供給者評価:100%実施	・実施継続(供給者評価表に環境関連事項追加、供給者評価項目へ組み入れ)																					
	CSR調達の推進	・伊藤園グループ調達方針の公表	・取引先会議及び社内イントラシステムにて調達方針を公表	・アンケート調査の実施																					
	外部顕彰制度受賞による企業価値向上	・外部顕彰制度受賞による活動内容の公開	・「エコシップ・モーダルシフト事業 優良事業者」表彰、「プラチナ大賞」大賞および経済産業大臣賞、「ジャパンSDGsアワード」特別賞	・外部顕彰制度受賞による活動内容の公開																					
	社員に対するCSR教育の拡充	・各部署・拠点内におけるCSR教育の継続実施	・管理職教育・全国説明会等実施	・各部署・拠点内におけるCSR教育の継続実施																					
ステークホルダーエンゲージメント	・地域課題解決に向けた、地域ステークホルダーコミュニケーション	・外部団体と各地で実施	・地域課題解決に向けた、地域ステークホルダーコミュニケーション																						

先進国・発展途上国共通の2030年への目標:持続可能な開発目標(SDGs) ※17のゴールの注釈は、関係機関の和訳を参考に当社にて整理したもの

- 1 貧困の撲滅
- 2 飢餓撲滅、食料安全保障・持続可能な農業
- 3 健康・福祉
- 4 質の高い教育
- 5 ジェンダー教育
- 6 水・衛生の持続可能な管理
- 7 持続可能なエネルギーへのアクセス
- 8 包摂的で持続可能な経済成長・雇用
- 9 強靱なインフラ、産業化・イノベーション
- 10 国内と国家間の不平等の是正
- 11 持続可能なまちづくり
- 12 持続可能な消費と生産
- 13 気候変動への対応
- 14 海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用
- 15 陸域生態系、森林管理、砂漠化への対応、生物多様性
- 16 平和で包摂的な社会の促進
- 17 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化